

「教育」の機会を

今年度から生活扶助費を 7.3% 減額する方針がだされ、大きな影響が懸念されています。ケースワーカーとして 25 年間つとめてこられた坂下光男さんにお話を伺いました。

千葉市の受給者は全人口の 1.9% (前年度)、全国では 0.8% だそうです。一方で先進諸国では 10% とのこと。日本には保護は受けていないが生活保護水準以下の生活をしている人が約 10% はいるという調査結果もあるようで、「生活保護基準を引き下げるなら、もっと受給者を増やして欲しい」と坂下さんは言っておられます。



生活保護基準を引き下げるなら、もっと受給者を増やして欲しい」と坂下さんは言っておられます。

勉強の習慣がない親や、親がアルコール中毒で勉強もままならない環境におかれている子どもたちは一般に成績が低い傾向にあり、中には刑事事件を起こす子もいます。坂下さんが在任中のとき、せめて学校に行かせてやりたいと奔走し、看護師になった子から「あのとき高校に行けたから資格を取ることができた。高校を出たことが支えになりましたから」といわれたそうです。

千葉市でも平成 23 年度より教員 OB による生活保護世帯の学習支援事業が始まっています。対象は中学 2、3 年生ですが、高校で中退する生徒が多いことから、今議会では進学後の学習支援の検討も求めました。

小西 由希子

「聞き置く」だけ

千葉市において意見陳述は代表者 1 名が委員会「休憩中」の 5 分間認められるとされています。「休憩中」という扱いなので当然ながら議事録はありませんし、いわゆる「聞き置く」という程度のものであるということが出来ます。また、審議中の議員や行政当局の発言や説明に「事実と反する」ことがあっても反論する機会も与えられません。

最近、「市民オンブズ千葉」がこの意見陳述を『休憩中』扱いではなく『審議中』扱いとすべきとの陳情をしました。

しかし、「暴言や個人攻撃などの不規則発言が陳述人からされた場合、これを取り消し議事録から削除できる旨の議会規則がないため、不規則発言も議事録に記録されてしまう。」等の消極的な理由で不採択とさ

れてしまいました。（「取り消し」は議員については認められているが陳述人には適用されない。）

であれば議会規則を改定すればよいと思うのですがそんな検討はされそうにありません。これで開かれた議会といえるのでしょうか。

市民オンブズ千葉
漆原 勉



市民オンブズマンとは、特定の政党や組織となんら関係・利害を持たず、職業も年齢もまちまちな普通の市民有志が集まり、地方公共団体等にかかわる不正・不当な行為を監視・是正する目的で活動する個人や団体です。

市民ネットワークちば 会員募集中!

市民ネットワークちばは、現在 2 人の代理人（市議会議員 美浜区：湯浅美和子・若葉区：山田京子）と共に活動しています。まちづくり通信、市民ネットワーク議会通信、市民ネットワーク千葉県の広報紙やイベントの情報をお届けいたします。

年会費：1,500 円 郵便振替 00 160-0-713121

千葉発！選挙で日本を変えるつどい

6月8日（土）18時10分開場 18時30分開演
会場：千葉文化センター アートホール
参加費：前売り 1000 円 / 当日 1200 円高校生以下無料
内容：松元ヒロさんライブとリレートーク
主催：「千葉発！選挙で日本を変えるつどい」実行委員会

放射能測定を継続しています

測定を希望される方はご連絡下さい。
市民ネットワークちば：TEL043-201-2551